

令和7年度長崎県公立学校  
教員採用選考第1次試験問題

教科・科目

高校 商業

受験番号

氏名

実施日 令和6年6月16日(日)

令和7年度長崎県公立学校教員採用選考試験

<h2 style="margin: 0;">高校商業</h2>
----------------------------------

解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。

1
---

次の各問いに答えよ。

問1 金融機関の業務について、(1)と(2)の問いに答えよ。

- (1) 発行された有価証券を投資家に売りさばく証券会社の業務で、全額販売する責任を負うものとして、もっとも適当なものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- a 自己売買業務      b 委託売買業務      c 募集・売出業務      d 引受業務
- (2) 普通銀行の業務のうち、現金の送付を行わずに、遠隔地間の決済や資金の移動を行う業務の名称を答えよ。

問2 次の文章を読み、(1)～(3)の問いに答えよ。

近年、小売業者のチェーン化が進んでいる。小売業チェーンは、中小規模の小売事業者が共同で作った本部機構が商品の共同仕入や宣伝広告を行い、それぞれの小売業者の店舗に商品供給を行う( )チェーン、単一企業が、類似する形態の店舗を各地に設け、中央本部が集中管理・運営を行う( )チェーン、および大規模企業が本部となって、加盟店を募り、自己の商号を使用する権利を与えて商品やサービスを提供する( )チェーンに分類される。

- (1) 文中の( )～( )に入る適語の組み合わせとして、正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- |                |         |         |
|----------------|---------|---------|
| a      レギュラー   | ボランタリー  | フランチャイズ |
| b      レギュラー   | フランチャイズ | ボランタリー  |
| c      ボランタリー  | レギュラー   | フランチャイズ |
| d      フランチャイズ | レギュラー   | ボランタリー  |
- (2) 文中にある3つのチェーン形態の説明として、最も適当なものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- a 3つのチェーン形態はいずれも商品の仕入方法において共通している。  
 b ボランタリーチェーンでは商品の供給を受ける各店舗が本部から独立している。  
 c フランチャイズチェーンでは商品販売の責任は本部が負っている。  
 d レギュラーチェーンでは販売店が本部にロイヤリティを支払う義務を負う。
- (3) コンビニエンスストアにおいて、本部が各店舗の販売状況や在庫状況を把握するために採用している情報収集システムの名称を答えよ。

問3 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 40,000 円で仕入れた商品に 25%の利益を見込んだ予定売価から 5%を差し引いて販売した。この場合の実売価を求めよ。
- (2) 原価 85,000 円で商品を仕入れ、この商品に 20%の利益を見込んで予定価格をつけ、30%引で販売した。この場合の損益率を求めよ。(パーセントに小数点がある場合は小数点第2位を四捨五入する)
- (3) 株式の配当金が1株につき 30.68 円、希望利回りが 5.2%である。この場合の指値の金額を求めよ。(円未満がある場合は切り捨てる)

2

次の各問いに答えよ。

問1 各文を読み、適語を解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

- (1) 市場をいくつかのグループに分けるセグメンテーションをおこなったあと、すべてのセグメントを対象にすることを何と呼ぶか。
- (2) 言葉や記号、シンボルやデザイン、音や音楽によって競合他社の製品やサービスと区別することを何と呼ぶか。
- (3) 製品コンセプトが消費者に受け入れられるかどうかを確認することを何と呼ぶか。
- (4) アメリカの学者エベレット・ロジャースのイノベーター理論においてイノベーター（革新的採用者）に次いで製品を購入するグループを何と呼ぶか。
- (5) 製品政策では、企業の製品アイテムと同系統の製品アイテムで構成される製品ラインの構成を考えるが、このような製品アイテムと製品ラインの組み合わせを何と呼ぶか。

[ 解答群 ]

ア．製品ミックス	イ．後期多数追随者	ウ．フルカバレッジ
エ．ブランド	オ．コンセプト・テスト	カ．早期（初期）採用者
キ．マーケティング・ミックス	ク．市場専門化	
ケ．テスト・マーケティング	コ．識別記号	

問2 文中の（ ）に入る適語を答えよ。

- (1) 生産者が消費者へ製品やサービスを直接販売することを（ ）チャンネルと呼ぶ。
- (2) 価格決定法のうち、小売業者が仕入原価に一定の利幅を加えることを（ ）と呼ぶ。

問3 文中の（ ）に入る適語を解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

- (1) セールス・プロモーションのツールのうち、特定の製品やサービスを購入した場合に贈る景品は（ ）とも呼ばれる。
- (2) 開発費が大きく、競合他社が参入できないような状況において、高価格設定を行う価格政策を（ ）という。

[ 解答群 ]

ア．サンプル	イ．プレミアム	ウ．クーポン
エ．上澄吸収価格政策	オ．市場浸透価格政策	カ．メーカー希望小売価格政策

3

次の各問いに答えよ。

問1 次の文章を読み、(1)と(2)の問いに答えよ。

バブル崩壊とその後の平成不況は、日本の高度経済成長期を支えた日本的経営とよばれる日本独自の経営システムに変化をもたらした。日本的経営は、財務面において 銀行を中心としたメインバンク制を採用し、雇用面において 終身雇用・年功給を従業員に保証し、企業運営面においては集団的意思決定を特徴としたが、近隣の新興国の台頭や国際競争の激化によって、グローバル化に対応した企業経営のあり方が求められるようになった。

- (1) 下線部 について、この制度の効果を説明するものとして、誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- a 資本市場が未発達だった時代に企業が必要とする設備投資資金を、メインバンクが供給した。
  - b 所轄官庁からの規制により、メインバンクは資金の投融資を通じてのみグループ企業の意味決定に影響を与えた。
  - c メインバンクを中心としたグループ企業は、株式の持ち合いによって株主の安定化を図った。
  - d メインバンク制のもと、同一グループ内の企業は、共同投資を行うなど密な関係を維持した。
- (2) 下線部 について、この仕組みの崩壊に伴って生じた現象を説明するものとして、ア～ウの正誤の組み合わせとして、正しいものを解答群から1つ選び、記号で答えよ。
- ア．正規雇用者の減少による人件費の削減  
 イ．非正規雇用者の増加による企業内組合の組織率の向上  
 ウ．正規雇用者と非正規雇用者との待遇格差の拡大

[ 解答群 ]

a	ア．正	イ．誤	ウ．正
b	ア．誤	イ．正	ウ．誤
c	ア．誤	イ．正	ウ．正
d	ア．正	イ．誤	ウ．誤

問2 次の文章を読み、(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) ある国が素材や金属品を輸出し、他国が付加価値をもつ工業製品として製造し、輸出する貿易のあり方は、垂直貿易、水平貿易のどちらか名称を答えよ。
- (2) 1980年代に入りわが国が輸出する主要品目は、それまでの繊維品や金属品などから、自動車を含む機械機器へと変化したといわれている。そのきっかけとなった出来事として、適当なものを次の中から1つ選び、記号で答えよ。
- a プラザ合意    b アジア通貨危機    c インターネットバブル    d 石油危機
- (3) 工場などの生産拠点が海外に移転することにより国内の製造業などが衰退する現象の名称を答えよ。

問3 次の文章を読み、(1)と(2)の問いに答えよ。

- (1) 文中の( )と( )に入る適語の組み合わせとして、正しいものを解答群から1つ選び、記号で答えよ。

商品売買は、有償の( )契約であるが、友人から1ヶ月間駐車場を借り、代金を支払わない場合は無償の( )契約に該当する。

[ 解答群 ]

a	双務・要物	片務・要物
b	双務・要物	双務・諾成
c	双務・諾成	片務・諾成
d	双務・諾成	双務・要物

- (2) 金銭貸借契約に関する記述ア～ウの正誤の組み合わせとして、正しいものを解答群から1つ選び、記号で答えよ。

ア．金銭貸借取引は消費貸借契約に該当するので、返す物は借りた物そのものである必要がある。

イ．利息を支払う契約による金銭貸借取引では、法定制限利率を超えていても当事者間の合意があれば、借り手はその利息を支払わなければならない。

ウ．金銭貸借取引において、貸借される金銭の利息を前払いとしてあらかじめ一定額を控除することを利息の天引きという。

[ 解答群 ]

a	ア．誤	イ．誤	ウ．誤
b	ア．正	イ．誤	ウ．正
c	ア．正	イ．正	ウ．誤
d	ア．誤	イ．誤	ウ．正

4

次の各問いに答えよ。

問1 次の文章 ~ の正誤の組み合わせとして、正しいものを解答群から1つ選び、記号で答えよ。

会社法は企業が作成すべき計算書類として、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、附属明細表を定めている。

企業会計原則は一般原則において財務諸表の明瞭表示を要請しているが、会計処理や表示について重要性が低いと判断される場合には簡便な方法によることも認められる。

企業実体の公準では、現代の企業が継続的に存続することを前提としており、その活動が実態を伴うものであることを要請している。

[ 解答群 ]

a	正	誤	誤
b	誤	正	正
c	正	誤	正
d	誤	正	誤

問2 次の資料にもとづき、(1) ~ (3)の問いに答えよ。ただし比率の小数点第2位以下の数値は四捨五入すること。

[ 資料 ]

1 第5期の貸借対照表

貸借対照表

令和〇年3月31日

(単位:円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金	24,300	支払手形	21,600
受取手形	17,800	買掛金	29,500
売掛金	12,600	未払法人税等	8,220
有価証券	8,700	長期借入金	28,000
商品	14,500	退職給付引当金	6,300
建物	60,000	資本金	70,000
備品	23,300	資本準備金	30,500
投資有価証券	48,600	利益準備金	15,400
長期前払費用	1,200	繰越利益剰余金	1,480
	211,000		211,000

2 第5期の損益計算書の金額

(一部)

売上高

223,200円

当期純利益

9,940円

(1) 自己資本利益率(%)を求めよ。

(2) 固定比率(%)を求めよ。

(3) 受取勘定回転率(回)を求めよ。

問3 (1) ~ (4) の取引を仕訳せよ。仕訳にあたっては、次の勘定科目を使用すること。

[ 勘定科目 ]

現	金	当座預金	売掛金	前払金
機	械	装置	機械装置減価償却累計額	未払金
前	受	金	資本金	資本準備金
別	途	積立金	繰越利益剰余金	売上
固定資産売却損		損		益

- (1) 商品 200,000 円を売り上げ、代金は内金 50,000 円を差し引き、残額は掛とした。
- (2) 期首に機械装置の買い替えを行った。旧機械装置の取得原価は 700,000 円、下取り金額の 290,000 円は新機械装置 680,000 円の購入金額に充当した。なお、旧機械装置の減価償却累計額（生産高比例法、総稼働可能時間 2,800 時間、1,680 時間稼働）は各自計算すること。
- (3) 決算にあたり、損益勘定の貸借差額を資本金勘定に振り替える。損益勘定に記載された費用総額は 3,700,000 円、収益総額は 4,100,000 円である。
- (4) 決算日現在の資本金は 200,000 円、資本準備金は 22,000 円、利益準備金は 10,000 円である。株主総会において、繰越利益剰余金から配当 250,000 円、別途積立金 60,000 円を積み立てる利益処分案が承認された。

問4 当社は単純総合原価計算を採用している。次の資料を読み、(1)と(2)の問いに答えよ。原料は製造着手時にすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。月末仕掛品の評価は平均法による。仕損じは製造工程の終点で発生しており、評価額は8,800円である。なお解答数値に小数点以下の端数が生じる場合には、小数点以下を四捨五入すること。

[資料]

1 生産データ

月初仕掛品	300個 (40%)
当月投入	5,000個
投入量合計	<u>5,300個</u>
月末仕掛品	400個 (50%)
正常仕損	200個 (100%)
完成品	<u><u>4,700個</u></u>

2 原価データ

a. 月初仕掛品原価

原料費	151,000 円
加工費	463,900 円

b. 当月製造費用

原料費	1,783,500 円
加工費	4,452,500 円

- (1) 月末仕掛品の材料費を求めよ。
- (2) 完成品1個あたりの製造単価を求めよ。

問5 次の文章を読み、(1)と(2)の問いに答えよ。

製品販売単価4,500円(製品1個あたりの変動費900円、固定費1,746,000円)を当期は500個売り上げ、54,000円の営業利益を得た。

- (1) この製品の損益分岐点売上高を求めよ。
- (2) 234,000円の営業利益を達成するために必要な販売数量を求めよ。

5

次の各問いに答えよ。

問1 次の情報技術に関する説明を読み、適語を解答群から1つずつ選び、記号で答えよ。

- (1) 三次元グラフィックスの画像処理などをCPUに代わって高速に実行する演算装置。
- (2) Webサイトの更新情報や内容を効率よく収集するための技術。
- (3) ソフトウェアをいくつかのサブシステムに分割し、サブシステムごとに設計、開発、テストを繰り返し行い、ソフトウェアの品質を高めていく開発手法。
- (4) 識別番号などのID情報が埋め込まれたICチップをタグに埋め込んで物品に添付し、電波などによる近距離無線通信でその物品の在庫管理や追跡などを行う技術。
- (5) 製品、データ、サービスなどの種類や品質、規格など、産業標準化法にもとづき制定される日本の国家規格。
- (6) 情報システムにかかるイニシャルコストとランニングコストをあわせた費用。

[ 解答群 ]

ア．ISO	イ．MPU	ウ．JIS	エ．リバーエンジニアリング
オ．RAID	カ．TPO	キ．RSS	ク．RFID
ケ．アジャイル開発	コ．CSS	サ．GPU	シ．TCO
ス．スパイラルモデル			

問2 次の(1)と(2)の問いに答えよ。

- (1) 2進数の10110111と16進数の6Bとの差を10進数で求めよ。
- (2) 8GBの記憶容量を持つUSBメモリを考える。1ページあたり日本語1000字が印刷されている本の場合、最大何万ページ分をこのUSBメモリに保存できるか。ただし、日本語1文字を表現するのに2バイトが必要であるとし、文字情報だけを記録するものとする。

問3 情報セキュリティに関する問いに答えよ。

次のA～Dの説明文のうち、ファイアウォールの設置によって実現できる事項として、正しい組み合わせを解答群から1つ選び、記号で答えよ。

- A 外部に公開するWebサーバやメールサーバを設置するためのDMZの構築
- B 外部のネットワークから組織内部のネットワークへの不正アクセスの防止
- C サーバ室の入口に設置し、入室が許可されているかを指紋によって判断する
- D 最初の1回だけ認証を受けることで、ログアウトするまでの間、許可されている複数のサービスの利用を可能にする

[ 解答群 ]

ア．A、B、D	イ．B、C	ウ．A、B	エ．C、D
---------	-------	-------	-------

問4 データベースに関する(1)と(2)の問いに答えよ。

(1) 次の語句A～Dのうち、リレーショナル型データベースの基本操作における関係演算をすべて挙げたものはどれか。解答群から1つ選び、記号で答えよ。

A. 結合      B. 射影      C. 順次      D. 選択

[解答群]

ア. A、B	イ. C、D	ウ. A、B、D	エ. B、C、D
--------	--------	----------	----------

(2) 顧客名と住所、製品名と単価、顧客が注文した製品の個数と注文した日付を関係データベースで管理したい。正規化された表として、適切なものを1つ選び、記号で答えよ。ここで、下線は主キーを表し、顧客名や製品名にはそれぞれ同一のものがあるとする。

ア.

○顧客

<u>顧客番号</u>	顧客名	住所
-------------	-----	----

○製品

<u>製品番号</u>	製品名	単価
-------------	-----	----

○注文

<u>注文番号</u>	顧客番号	製品番号	個数	日付
-------------	------	------	----	----

イ.

○顧客

<u>顧客番号</u>	顧客名	住所
-------------	-----	----

○製品

<u>製品番号</u>	製品名	単価
-------------	-----	----

○注文

<u>注文番号</u>	顧客名	製品名	個数	日付
-------------	-----	-----	----	----

ウ.

○顧客

<u>顧客番号</u>	顧客名	住所	日付
-------------	-----	----	----

○注文

<u>注文番号</u>	顧客名	製品名	単価	個数
-------------	-----	-----	----	----

エ.

○製品

<u>製品番号</u>	製品名	単価	個数
-------------	-----	----	----

○注文

<u>注文番号</u>	製品番号	顧客名	住所	日付
-------------	------	-----	----	----

問5 表計算ソフトのマクロ言語によるプログラミングについて、次の処理内容を読み、プログラム中の  ~  に入る適切なプログラムコードを答えよ。

#### 処理内容

商品番号、商品単価、売上数量が記された販売記録 (csv ファイル) を読み込み、次の条件に従って売上金額とポイントを計算し、表示する。

#### 処理条件

商品単価と売上数量から売上金額を計算する。売上金額が 10,000 円未満の場合は売上金額の 5 %、10,000 円以上の場合は売上金額の 10% がポイントとして還元される。ただし、ポイントは整数とする。

各商品の売上金額、獲得ポイント、ポイントの合計を表示する。

#### 【入力データ】

#### 【実行結果】

#### [データ形式]

(項目名)	商品番号	商品単価	販売数量
(データ型)	整数	整数	整数

#### [CSV ファイル] Point.csv

```

Point
ファイル 編集 表示
1,3000,5
2,2400,3
3,1500,6
4,4280,3
5,550,10
6,1980,7
7,5500,1
8,2980,3
9,198,15
10,1300,4
|

```

	A	B	C	D	E
1	商品番号	商品単価	売上数量	売上金額	ポイント
2	1	3000	5	15000	1500
3	2	2400	3	7200	360
4	3	1500	6	9000	450
5	4	4280	3	12840	1284
6	5	550	10	5500	275
7	6	1980	7	13860	1386
8	7	5500	1	5500	275
9	8	2980	3	8940	447
10	9	198	15	2970	149
11	10	1300	4	5200	260
12				合計ポイント	6386
13					

上図はプログラムで集計した結果を表計算ソフトのワークシート上に出力したものの

## 【プログラム】

```

Option Explicit
Sub PointCalc()
    Open "c:\¥data¥Point.csv" For Input As #1
    Dim buf As Variant
    Dim data As Variant
    Dim ritsu As Single
    Dim point As Integer
    Dim pSUM As Integer
    Dim x As Integer
    Dim y As Integer
    =====CSV ファイル読み込み=====
    x = 1
    Do While Not EOF(1)
        Line Input #1, buf
        data = Split(buf, ",")
        For y = 0 To UBound(data)
            Cells(x + 1, y + 1) = data(y)
            
        Next y
        x = x + 1
    Loop
    Close #1
    =====売上金額・ポイント計算=====
    pSUM = 0
    x = 1
    Do Until Cells(x + 1, 2) = ""
        
        If Cells(x + 1, 4) < 10000 Then
            ritsu = 0.05
        Else
            ritsu = 0.1
        End If
        
        Cells(x + 1, 5) = point
        pSUM = pSUM + point
        x = x + 1
    Loop
    Range("E12") = pSUM
End Sub

```